

平成30年度事業計画

今期は、公益社団法人へ移行して六年目の年であり、公益活動「不特定、多数の人々への貢献」の更なる推進と、協会創立60周年を迎える2020年に向けた準備の年と位置付けます。

I 公益事業

(1) パッケージデザインに関する調査・研究及び情報の収集・発信事業

1) 調査研究事業

(a) 調査研究及びWEBサイト用資料の作成

パッケージの役割や課題、デザインの評価、トレンドなどの情報を調査収集・整理・研究を行い、パッケージデザインのあるべき姿を探り、結果を公式サイトで公開する。

また、WEBサイト「情報の森」内の記事追加・更新を行い、定期的に情報を発信する。

(b) 調査研究成果の発表

調査・研究から得られた成果の理解を深めるために、テーマを専門とする講師による勉強会や研究会を開催する。

2) アーカイブ事業

D-8デザインミュージアムに対応するJPDAの資料作成、及びJPDA独自の資料アーカイブ化に向け、1985年から実施されている日本パッケージデザイン大賞の大賞・金賞作品の収集をスタートさせた。今年度は2020年に向けて継続した作品収集と資料の整理を進める一方、昨年度より行っている「声のアーカイブ」（過去の大賞・金賞受賞者へのインタビュー録画）を充実させていくとともに、対象者を招いたセミナーを開催して録画記録を残していく。同時進行で、常設展示スペースの探索を行う。

3) 広報事業

パッケージデザインを本格的に考察した、より専門的で資料価値の高い企画内容にすると共に、協会員から要望の強い地域の会員紹介にも力を入れた広報誌を年2回発行する。また、パッケージデザインに関する様々なコンテンツにより旬の情報を収集し発信する。

4) インターネット事業

インターネット、メールメディアによるJPDAのプロモーション活動、及びマイワークスの運営。

①協会ホームページ(一般/会員)の企画運営。②メールによる会員への迅速な報告・連絡の推進、メルマガ発信、及び、SNS活用による一般への情報発信。③マイワークス等の情報発信機能の強化とホームページ掲載情報の更新。

*平成30年度はとくにマイワークスのシステム強化に注力する。

(2) パッケージデザインに関する公募、審査、受賞者の発表、及び贈賞に関わる事業

1) コンペティション事業(日本パッケージデザイン大賞AWARDS)

パッケージというデザイン領域のプロフェッショナルたちが集い、作品のデザイン性や創造性を競うコンペティションである「日本パッケージデザイン大賞AWARDS 2019」を開催し、選挙で選ばれた会員審査員と外部特別審査員による厳正な審査を経て優秀作品を顕彰する。

2) 顕彰事業 (JPDAパッケージデザイン功績賞)

パッケージデザインの社会的重要性の認識を高め、日本のパッケージデザインの向上に寄与した個人、または、法人に贈るJPDAパッケージデザイン功績賞は、2名の外部審査員と24名のJPDA理事の賛同により、今年度はJPDAの前理事長であり、(株)ブラビス・インターナショナル代表取締役社長のフミ・ササダ氏と、JPDA前事務局長であった山崎次郎太氏の2名に贈ることとなった。5月末の通常総会後に両氏の顕彰式並びに、フミ・ササダ氏の記念講演会を、広くパッケージデザイン関係者を対象に開催する。その後、顕彰者を囲んでの交流会を開催する。

(3) パッケージデザインに関する展覧会事業

1) 展覧会事業

平成30年度(2018年)は、平成28年度(2016年)の「日本を包む展 ～美しい日本語のパッケージ～」に続く、第2弾の創作展「感じるパッケージデザイン展」を開催する。

・京都展：「しまだいギャラリー」2018年10月4日～10月11日開催

・東京展：「渋谷ヒカリエ」2018年12月18日～12月30日開催

3回シリーズの最終回である平成32年度(2020年)に、これまでの3回の展覧会を纏めた図録を発刊予定である。

2) 「パッケージデザインインデックス 2018」の出版記念イベント

「パッケージデザインインデックス 2018」の出版記念イベントとして、印刷博物館と共催で凸版印刷P&Pギャラリーにおいて、「日本のパッケージデザインの今」の魅力を広く社会にアピールする企画・展示を行う。

(4)パッケージデザインに関する各種セミナー・育成事業

1)セミナー事業

(a) 東日本

「2018 Talk Café」：若手・中堅デザイナーをコアターゲットにパッケージの新たな可能性・交流につながるトークイベントを開催する。

(b) 中日本

①愛知・岐阜地区： デザイナーズセミナーを秋に開催する。学生を含めた若いデザイン関係者に声をかけることで名古屋地区の盛り上げを図る。

②北陸地区： パッケージデザインや広告・ポスター・ディスプレイなど県内外の創造性豊かな商業デザインジャンルの優秀作品を一同に展示し、広く一般や企業の方にアピールするデザインの振興イベント。
富山市主催の「パッケージデザインコンペティション」入賞作品、及び、JPDA北陸会員の作品展を開催予定。

③北陸地区： トークカフェ in 北陸は次世代のパッケージ業界を担う若手デザイナーと学生を対象としたトークイベントで、2013年から開催し2018年で6回目となる。開催地を富山と金沢を隔年で変更することにより各地域のデザイナーとの新しい交流も活性化している。

(c) 西日本

①主に西日本の会員を対象に、東京で開催される通常総会の報告会を開催する。同時に、パッケージデザインに関わる事業や人材育成に資するセミナーを開催する。(平成30年6月開催予定)

②会員及びパッケージデザインに関わる人々を対象に、パッケージデザインに関わる「造形」、「素材・加工」、「製造」、「文化」、「ビジネス」などをテーマにした勉強会を開催する。

2)デザイン保護事業

(a) ウェブサイトの委員会レポートページを、デザイン保護と知的財産権の知識の共有を目的に継続する。

(b) デザインの知的財産権保護に関する諸活動を推進する。知財セミナー(デザイン業務に必要な知財に関するセミナー)を2回開催する。併せて、日本デザイン団体協議会(D-8)主催のデザイン保護研究会への参加を継続する。

(c) 特許庁公報検索初級向け補助資料を作成する。

3)教育事業(育成事業)

教育セミナーとして、パッケージデザインに携わる若手デザイナーをメインターゲットにしたワークショップを開催する。

(5)パッケージデザインに関する国内・国際交流事業

1)国内交流事業

「東京デザイン会議」：金沢市、高知県四万十市に次ぐ第3回目のJPDAデザイン会議を平成31年1月に東京で開催する。また、同日の夜に年初の新年交流会も合わせて開催する。(新年交流会については東日本委員会より提案)

2)新年交流事業

①東日本：会員だけでなくパッケージ関係者を広く募り、2019年新年デザイン交換会を平成31年1月に開催する。今回はJPDAデザイン会議の同日の夜とし、日本文化の魅力に結びつく講演会を企画する。

②中日本愛知・岐阜地区： 2019年新年デザイン交流会&デザイナーズセミナーを平成31年2～3月に開催する。セミナーはデザインを志す学生諸氏にも参加してもらえるような企画内容とする。

③西日本：パッケージデザインの関係者を対象にした、新年交流会を開催する。同時に、幅広い層の人々に興味を持たれる勉強会を開催し、参加者の啓発とネットワーク作りにも役立ててもらう。(平成31年2月開催予定)

3)国際交流事業

(a)海外デザイン視察：成長・変化が著しいアジアデザインの最先端であり、とくにデザインハブを標榜するシンガポールと、「大統領自らがパッケージに注力している」インドネシアを視察するとともに、当該国のデザインオフィスを訪問し、海外デザイナーとの交流を深め、国内デザイナーのレベルアップ・視野拡大に繋げる。

(b)独立行政法人国際交流基金とアスパック協会が推進するアジア学生パッケージデザイン交流プロジェクトの、パッケージデザインコンペティションで選出された優秀作品を、JPDA賞を設け顕彰する。

(6) 出版事業

(a)年鑑出版：日本パッケージデザイン大賞2019の入賞・入選作品を掲載した、「年鑑日本のパッケージデザイン2019」の平成31年5月発刊に向けて、全体企画、特集企画などを立案・推進する。

(b)パッケージデザイン・インデックス：最新の日本のパッケージデザインに関する作品と技術を網羅し、パッケージ

とブランディングに関わる全ての人に役立つ作品集「Package Design Index 2018」を平成30年5月発刊する。

(7) 2020プロジェクト JPDA60周年事業準備チーム

節目となる60年のストーリー作りと各委員会を包括した事業内容の検討、及び、それを実行に移す基盤の準備作業を推進する。また、合わせて2019・2020年のロードマップを作成する。

II 収益事業

(1) アジア学生パッケージデザイン交流プロジェクトの受託事業

独立行政法人国際交流基金とアスパック協会が推進するアジア学生パッケージデザイン交流プロジェクトを受託し、パッケージデザインコンペティションをJPDAの持つノウハウを活用して推進する。平成30年度は、地域を東アジアに拡大してから4回目のパッケージデザインコンペティション&贈賞式及び入賞作品の巡回展を開催する。今回のコンペティションは日本・韓国・中国・台湾・タイ・インドネシア・シンガポール・マレーシア・ベトナムの9カ国の参加が確定しており、さらにインド・フィリピン・モンゴル・ミャンマーの参加を調整中である。